

## 日光白根山リベンジ山行（軽登山分科会）

山行日 2018年7月24日（火）

行程 千葉銀前 5:00＝丸山高原スキー場 8:15＝RW 山頂駅 9:00－避難小屋 9:20－  
日光白根山山頂 11:45－避難小屋 13:10－五色沼 13:45－弥陀ヶ池 14:10－  
七色平 15:10－RW 山頂駅 15:50＝丸山高原スキー場 16:10＝松戸到着 20:30

連日、各地で40度の記録が発表され、熱中症が危険な猛暑の中、千葉銀行前から2台の車が5時に出発しました。

内心、この暑さで仲間とゴールまで歩くことができるか心配でした。

この山行は6月23日のバスハイクで、森林限界まで到達した時、山頂が見えたと同時に風雨が激しくなり撤退となってしまったので、リベンジ山行として松藤さんが計画された山行です（各々リベンジされた方が結構おりました）。

ロープウェイを降りると、標高2000m、どっしりと構えた白根山、そして下界では味わえなかった冷気が気持ちを安心させてくれます。

先頭は二宮さん、二番手が加藤です。二荒山神社にリベンジ成功なるよう一礼して出発です。

1ヶ月前、登山道にカニコウモリの群落があったのは覚えていましたが、今では白い細長の花をつけたカニコウモリの花が、見渡す限り斜面いっぱい埋め尽くして見事な群落になっていました。

「ここでUターンしたんだよねえ」、山頂が見えた森林限界まで来ました。

雲一つない青い空、風も無く、視界は抜群、これ以上の天気はありません。

つぶやきながら、山頂を目指します。踏ん張りのきかない砂礫の登りは歩きづらいです。ゆっくり、ゆっくり歩を進めます。山頂近くになると、山肌に大きな黒い岩がたくさん目に入り、異様な光景です。



白根山山頂にて

頂上直下のゴツゴツした岩場を登り、念願の山頂に立つことができました。山頂が狭いので、もしバスハイクの24名が頂上を制覇するのであったなら、スムーズに登りきるのは大変だったでしょう。

3つのコブの頂には、思っていた以上に人が出ていました。遠望の山並みも素晴らしいですが、目前に見える変化に富んだ荒々しい岩、穏やかな緑のぼっちゃり山、真下に見えるコバルトブルーの五色沼は、目に焼き付き残像として今でも残っています。



五色沼目指して

絶景を満喫した後、慎重に岩場を降りて、分岐に着いた時はホッとしました。ピンク色のハクサンフウロが可愛い顔で応援してくれます。

五色沼に沿って歩き（いつもより水が少ないとか）、涼風が気持ち良いです。

4時に下山のロープウェイに乗り、真下はスキーのゲレンデのようで、お花畑が続き、背丈の高い薄ピンク色の花、黄色の花達が見えます。

座禅温泉で汗を流して、家路に向いました。

今回の山行では二宮さんの心配りのおかげで、ヘトヘトにならず歩くことが出来ました。熱中症の危険を守る為に、ゆっくり歩き、立休みのこまめな水分補給で息も上がりず、感謝、感謝です。

松藤さん、二宮さん長時間の運転お疲れ様でした。仲間の皆様ありがとうございます。



ハクサンフウロ